

II 暮らしの向上

9 景観・環境の保全と創造

1 美しく風格のあるまちなみ景観の保全・創造

主担当部局長名
景観・環境局長 中 幸司



笠荒神付近の一面のそば畑(奈良県景観資産)

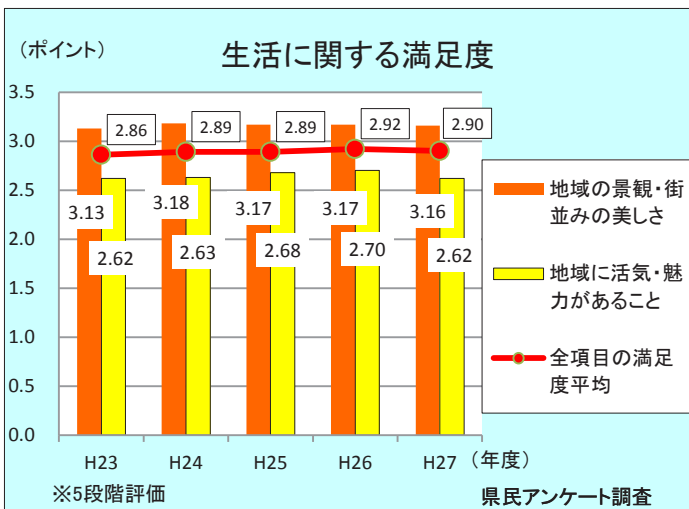
目指す姿

奈良のきれいな“まちなみ”と“環境”を守り・創ることを通して、県民が愛着と誇りを持つことのできる美しいまちづくりを目指します。

これまでの成果

- ・平成26年度までに奈良県景観資産に登録された109件についてチラシおよび冊子を作成し、東京まほろば館等に配布しました。また、パネル展を図書情報館等6カ所で行い、景観資産のPRを実施しました。
- ・『「植栽ジャーナル」なら四季彩の庭』を発行し、県・市町村・地元団体・企業等による植栽整備・維持管理の取組を紹介し、普及啓発に努めました。
- ・景観上大きな影響を及ぼす屋外広告物に関する規制の強化等を促進する手法を検討するため、中和幹線をモデル路線として、関係市町及び県が連携して意思形成を図る協議会を、平成27年9月に設置しました。

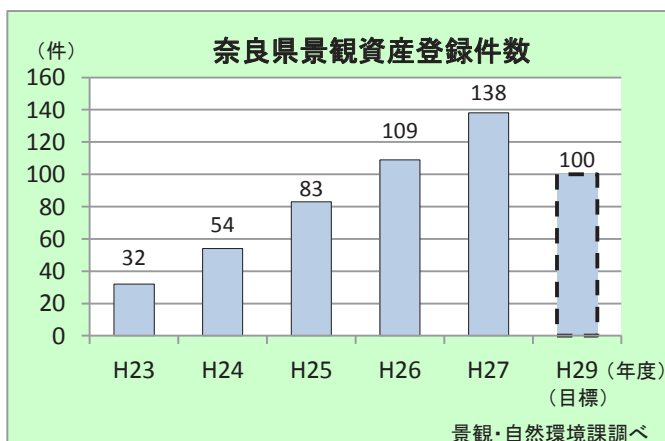
1. 政策目標達成に向けた進捗状況



目標	奈良の景観の向上を目指し、優れた景観の保全と創造、好ましくない景観の改善に取り組みます。
取組	建築物や屋外広告物等の規制誘導による景観の保全、奈良県植栽計画に基づく「なら四季彩の庭」づくりの推進、「なら景観フォーラム」の開催等による県民の景観への意識向上等、良好な景観を守り、創り育て、活用するための各種取組を行いました。
成果	県民の生活に関する満足度のうち、「地域に活気・魅力があること」について、全項目の満足度平均との差を過去5年の平均値と比較すると、0.24ポイント低くなっているものの、「地域の景観・街並みの美しさ」については、同比で0.27ポイント高くなっています。これは、奈良の景観の美しさが一定の水準以上に保たれているためと考えられます。

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略目標 ①平成29年度末までに景観資産の登録数を100件にします。(H26年11月現在:83件)



取組	良好な景観を顕彰し、地域の景観意識を向上させるとともに誘客促進を図るため、平成23年度に奈良県景観資産の登録制度を開始し、平成27年度も引き続き景観資産の公募及び新規登録を行いました。(①) ※奈良県景観資産: 県内の景観的に価値のある建物や樹木、すばらしい景観を望める場所等を登録
成果	平成23年度以降、「四神八景」「記紀・万葉」「街道景観」「水辺景観」と毎年テーマを設定して、奈良県景観資産を登録してきました。平成27年度は「営み・なりわいの景観」のテーマで29件を登録し、総登録数が138件となり、目標を達成しました。